

令和6年度大阪府福祉基金地域福祉振興助成金地域福祉推進助成「事業評価」(事業概要)

団体名	社会福祉法人大東市社会福祉協議会	
事業名	ICT を活用した「地域活動見える化」プロジェクト	
実施期間	2024年4月1日～2025年3月31日	
助成(実績)額	2,143,000円	

事業概要	事業実績	事業を実施したことによる成果
<p>令和5年度においては、タブレットを配布することでデジタル格差をなくすという ICT 化の基盤づくりを行った。次のステップとして、事務局からの配信を待つだけの受動的なタブレットの活用ではなく、自ら能動的に使用してもらうため、令和6年度においては、委員同士・団体同士でのやりとりを活発化し、直接的に情報共有や情報交換ができる場を設定した。</p> <p>具体的には、 「地域活動見える化プロジェクト」と題し、下記の項目を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン会議や研修会、SNS ツールの活用 ・各団体の拠点をオンライン上でつなぎ、交流会を実施 ・広報啓発活動への活用 など。 	<p>●昨年に引き続き、民生委員児童委員の理事会等で、会議資料を事前にタブレットへ送っておくことによりペーパーレス化を実践。開催通知等の郵送費用の削減や配布資料の準備に要する時間の削減につながった。</p> <p>●各活動の見える化を目的にタブレットを活用した動画撮影を行い、集合とオンラインにてお茶のみ休憩所の交流会を実施。 「お茶のみ休憩所交流会の開催」</p> <p>日時:令和7年2月3日(月)4時～16時 場所:大東市立総合福祉センター1階社会適応訓練室およびオンライン 対象:お茶のみ休憩所代表者11名 集合と ZOOM にて開催。各お茶のみ休憩所の様子をタブレットで撮影し、その動画を交流会で共有した。話すだけでは伝わりにくいことも「目で見る」ことで理解しやすくなり、タブレットを導入したからこそ実現できた。</p> 	<p>●今回の交流会について、各お茶のみ休憩所の代表者にタブレットを配布することにより、現地の活動の様子を撮影してもらうことができた。各地域の活動について動画で共有することで、話すだけでは伝わりにくいことも「目で見る」ことで理解しやすくなった。自分の地域の活動を客観視でき、とても意義のある交流会になった。</p> <p>●タブレット配布の取組みについて、府内の民児協事務局から多数の問い合わせがあった。府内全体の ICT 化にも貢献できていると感じる</p> <p>●ICT 化の取組みについて大東市議会の議員の方も興味を示してください、議会で取り上げていただいた。</p>

※写真の挿入も可能です。(1～2枚程度)